

こんなに問題の多いダムをつくらせてよいのでしょうか？

ハツ場ダム計画の 七不思議

巨額の事業費は誰が払うの？

国民の総負担額は何と8,800億円、そのうち、群馬県民の総負担額は350億円で、地方税と水道料金として県民に重くのしかかります。1人あたりの負担額は1.7万円になり、4人家族の場合は6.8万円になります。

近い将来には人口が減っていくのになぜダムを作るの？

首都圏の人口はあと少し増えるだけで、2015年頃にはピークを迎え、その後は減っていきますので、水道用水も確実に減少傾向になります。過剰な水源施設をつくる財政的余裕はこの国にはもうありません

本当の洪水対策は？

洪水対策の基本は、豊かな森林をつくって河道を整備することです。ハツ場ダムが利根川の洪水対策にさほど役立たないことは国の計算でも明らかになっています。

災害を誘発する危険性はないの？

ハツ場ダムの予定地は地質がきわめて脆弱です。そんなところに水を貯めると、ダム湖内で地すべりが発生するだけでなく、水没しない周辺も支えを失い崩落する危険性が極めて高いと指摘されています。

水質は悪化しないの？

ダム予定地の上流には多くの観光地、広大な農地や牧場などがあって、たくさんの栄養物が流れ込んできていますので、貯水を開始すれば、藻類の異常増殖による水質悪化が必ず進行します。

吾妻溪谷と川原湯温泉街はどうなるの？イヌワシは？

関東の耶馬溪といわれる吾妻溪谷の大半と、800年の歴史を誇る情緒豊かな川原湯温泉街が湖底に沈んでしまいます。そして、イヌワシ等の絶滅危惧種の生息にも致命的な影響を与えつつあります。

群馬の水道用地下水はどうなるの？

最も安全性が高く美味しい水道水は地下水を水源とするものです。ハツ場ダムができると、群馬県でも、最高級の水道水源である地下水の一部が河川水に切り替えられることになっています。

